

新型コロナウイルス感染症の症状

発熱やのどの痛み、長引く咳（1週間前後）、強いだるさ（倦怠感）を訴える人が多いことが特徴です。感染しても軽症であったり、治る例も多いですが、季節性インフルエンザと比べ、重症化するリスクが高いと考えられます。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されています。特に高齢者や基礎疾患のある人は重症化しやすいとの報告があります。

こじやって感染します

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話などには注意が必要です。

飛沫感染

感染した人から放出されたウイルスを健康な人が吸い込むと感染する恐れがあります。咳やくしゃみによって、飛沫は広く飛び散り、他人が呼吸とともにそれを吸い込む危険が拡大します。咳エチケットを心がけましょう。

接触感染

感染した人が咳やくしゃみを手でおさえた後、飛沫とウイルスは手に付き、後に触れたもの（机、ドアノブ、つり革、スイッチなどの表面）に付着して一定期間生存します。付着したウイルスに健康な人が触れた直後に、目、鼻、口に触れると、粘膜・結膜を通じて感染する恐れがあります。

咳エチケット



正しい手の洗い方

ウイルス感染を予防するためには、手洗いが大切です。手洗いは、外出後だけではなく、可能な限り、頻回に行いましょう。石けんを使って最低15秒以上洗い、洗った後は清潔なタオルなどで水を十分に拭き取りましょう（タオルの使い回しはしない）。また、ウイルスは粘膜を通して感染するため、鼻や口などを触らないようにしましょう

❗ 石けんをよく泡立て、次の手順で洗いましょう
手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう



新型コロナウイルス 感染予防のために

問い合わせ
保健センター

新型コロナウイルス感染症についての相談窓口

厚生労働省
☎0120-565653
受付時間/午前9時～午後9時
(毎日)

大阪府
☎06-6944-8197
受付時間/午前9時～午後6時
(毎日)

大阪狭山市
保健センター☎367-1300
受付時間/午前9時～午後5時30分
(土・日曜日、祝日など休日を除く)

次の症状がある人は、新型コロナ受診相談センター
(帰国者・接触者相談センター)に相談してください

- 風邪の症状や37.5℃前後の発熱が4日程度続いている（高齢者・妊婦・基礎疾患がある人は2日程度）
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある

新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）
富田林保健所

☎0721-23-2683

ファクシミリ FAX0721-24-7940 （受付時間/ 24時間相談を受け付けます）

センターでの相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」を紹介しています。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

新型コロナウイルス感染症対策の見解 [3月9日]

クラスター（集団感染）が確認された場の共通点

クラスターが確認された場の共通点として、次の3つの条件が同時に重なることがあげられます。これらの条件が同時にそろう場所や場面を予測し、避ける行動をとるべきです。

1 換気の悪い密閉空間

2 多くの人が集まる場所

3 近距離（互いに手を伸ばせば届く距離）での会話や発声をする場面

クラスターの発生リスクを下げるための3つの原則

1 換気を励行する

（2方向の窓を同時に開けるなど）

2 人の密度を下げる

（会場の広さを確保し、お互いの距離を1～2m程度あけるなど）

3 近距離での会話や発声、高唱を避ける
（近距離での会話が必要な場合は、マスクなどを着用する）

これらに加え、手指衛生・咳エチケットの徹底、共用品を使わないことや使う場合の消毒、参加者をあらかじめ把握することなどが必要です。

